

農山漁村地域整備計画(森林整備事業計画)事前評価結果

計画の概要	計画の名称	神奈川県森林整備事業計画
	計画策定主体	神奈川県
	対象市町村	県内10市町村
	計画期間	令和5年～令和9年 計5箇年
	計画の目標	基幹となる林道がない森林に林道を新設するとともに、既設林道に法面保全や局部改良等を実施することによって、車輛通行の機能を高め、森林整備の促進を図る。 花粉発生源となっているスギ及びヒノキの人工林を伐採し、コンテナ苗による花粉症対策苗木への植替えを行なうことで、花粉の飛散の少ない森林への転換を図ることを目標とする。
	評価指標	計画期間内に林道200m範囲の概ね10%の森林整備を実施する。 事業対象とする流域の人工林が67.79haあり、計画期間内に花粉発生源となっているスギ・ヒノキの人工林等を花粉症対策苗木に植替える等の森林整備事業を実施することにより、花粉発生の少ない森林が0.00haから7.75haに増加する。
	対象事業	森林整備事業
全体事業費	33億円	

項目	評価細目	評価	説明欄
目標の妥当性	1 関連する計画との整合性が図られているか	○	「地域森林計画」との整合性が図られている。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	地域の課題である「森林整備の促進」及び「花粉症対策」に対応した目標となっている。
整備計画の効果・効率性	1 整備計画の目標と定量的指標の整合性がとれているか	○	整備計画の目標として適当な定量的指標の設定となっている。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	目標値の達成状況について、事後評価できるものとなっている。
	3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切のものとなっているか	○	「森林整備事業」の実施により発現する効果として適切な指標となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	対象地の条件・事業に必要な技術的条件・事業費等様々な側面から検討して実施可能な計画となっている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元関係者からは理解を得られている。
評価結果	評価 I 事業を実施 評価 II 計画の見直し	[評価基準] [評価 I]は全項目に○印がついている [評価 II]は1項目でも×印がついている	